☆　『気になる』児童生徒のための気づきシート～行動面など～

学年・児童生徒名		記入者		記入日	

（行動面）

□　授業中席に座ってはいるが、教師の話や指示を聞いていないように見える。（ぼーっとしている。）
□　細かいところまで注意を払わなかったり、不注意な間違いをしたりする。
□　指示に従えなかったり、課題を最後までやり遂げられなかったりする。
□　学級全体への一斉の指示だけでは行動に移せないことがある。
□　係活動や当番活動は教師や友達に促されてから行うなど、日常やるべきことを忘れることが多い。
□　気持ちを集中して努力を続けなければならない課題（勉強や宿題など）を嫌がる。
□　手わすら（手いたずら）をしたり、関係のない遊びをしたりして、授業に集中できていない。
□　周りのちょっとしたこと（物音、人の動き）に気を取られやすい。
□　学習や活動に必要な物をよく忘れたり、なくしたりする。
□　整理整頓が苦手である。
□　文字が乱雑、色塗りが雑で、枠からはみ出したり隙間が残ったりしても気にしない。
□　場にそぐわない行動が見られる。
□　授業中に席を離れたり、机をガタガタさせたりするなど落ち着きがないように見える。
□　待つことが苦手である。
□　過度におしゃべりしすぎる。
□　結果を考えずに危険な行動をしがちである。（物を振り回す、高いところに上る、飛び降りるなど。）
□　人の物を勝手に取ったり、壊したりしてしまう。
□　ゲームや遊びのルールや順番などを守ることができない。自分が勝たないと気が済まない。
□　悪いことを注意されても理解できず、自分が悪いことをしたという意識もあまりない。注意しても、何度も同じことを繰り返す。

（対人関係・コミュニケーション）

□　友達より教師（大人）と関係を取ることを好む。
□　休み時間、一人でいることや自分の興味で行動することを好む。
□　行事などの集団活動が苦手で、集団に入ったり共に行動したりすることに強い抵抗を示すことがある。
□　丁寧すぎる言葉遣いをする。（場に合わない、友達同士でも丁寧すぎる話し方をする。）
□　含みのあることや嫌みを言われても分からず、言葉通りに受け止めてしまうことがある。
□　会話の仕方が形式的であり、抑揚なく話したり、間合いが取れなかったりすることがある。
□　誰かに何かを伝えることが目的でなくても、場面に関係なく声を出すこと（唇を鳴らす、咳払い、のどを鳴らす、叫ぶなど）や独り言が多い。
□　相手の気持ちや場面を理解しないで行動することが多い。（人が嫌がることを言ったり、ちょっかいを出したりする。一方的に話してしまい、会話が成立しにくいなど。）
□　友達とよくトラブルを起こす。
□　他の人がしていることを遮ったり、じゃましたりする。（会話や遊びに割りこむ。）
□　自分がした約束でもすぐに忘れてしまう。
□　人と接するとき、適切な距離が取れない。（近づきすぎる。）

（情緒、感情のコントロール、こだわり）

□　本人のこだわりのために、他人の言動を許せないことがある。
□　自分なりの独特な日課や習慣、手順にこだわりがあり、変更や変化を嫌がる。（急な予定の変更があると、不安定になることがある。）
□　興味関心の幅が狭く、限られたいくつかの興味に異常なほど熱中する。
□　新しい環境や初めての体験に対して不安が強く、拒否したり極端に消極的になったりすることがある。
□　食べ物や衣服などに極端なこだわりがある。（極端な偏食、着慣れない衣服などがある。）
□　ささいなことですぐに泣き出し、なかなか泣きやまない。
□　カッとなって怒り出したり、暴れたりする。

＊子どもの困難さに気づき、支援方法を検討するための参考資料としてご活用ください。

参考：福島県養護教育センター（Ｈ２１）「特別支援教育コーディネーターハンドブック」の資料１「気づきのためのチェックリスト」より